

平成30年度における町の健全化判断比率及び資金不足比率

◎健全化判断比率及び資金不足比率の算定結果

平成30年度決算における町の健全化判断比率及び資金不足比率の算定結果は下表のとおりです。すべての指標で早期健全化基準、財政再生基準及び経営健全化基準を下回りました。

□健全化判断比率

財政指標	平成30年度 町の算定値	平成29年度 町の算定値	平成30年度 早期健全化基準	平成30年度 財政再生基準
実質赤字比率	—	—	13.95%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	18.95%	30.00%
実質公債費比率	4.4%	4.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	40.9%	49.6%	350.0%	—

※ 実質赤字比率、連結実質赤字比率は、実質赤字額または連結実質赤字額がない場合、「—」が表示されます。

□資金不足比率

会計名	平成30年度 町の算定値	平成29年度 町の算定値	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.00%
下水道事業特別会計	—	—	20.00%
農業集落排水事業 特別会計	—	—	20.00%
公設浄化槽事業 特別会計	—	—	20.00%

※ 資金不足比率は不足額がない場合、「—」が表示されます。